

第9回 大分大学技術交流会

日時 平成30年 1月16日(火) 13:30~18:30

会場 レンブラントホテル大分 大分市田室町9-20 TEL:097-545-1040

主催 大分大学産学官連携推進機構

会場1

理工学部 最先端研究シンポジウム

13:30~13:40

開会挨拶

13:40~14:40

基調講演

「失敗と成功に学ぶ新製品開発の勘所」

企業の開発部隊が陥る罠について ~3年以内に世の中になくものを創れ!~

NOK株式会社 業務本部 人材企画部 部長 福間 博文氏

福間博文氏は、大分大学大学院を修了されて、自動車向けシール製品やフレキ基板国内トップシェアのNOK(株)(東証一部)に入社。技術開発や海外工場の現地での生産立上げ、技術統括などの豊富な業務経験をお持ちでビジネスの観点を踏まえた、新製品開発、新技術開発での「何が成功と失敗を分けたのか」を講演していただきます。

14:40~15:00

最先端研究
の講演

「大分大学エネルギーと 暮らしの総合研究センター」について

創生工学科 電気電子コース 助教 西嶋 仁浩

革新的なスマートエネルギー技術の創出を目指す研究センターについてご紹介します。また、研究紹介として、電気自動車やハイブリッドカーに関する技術、さらにはサイズ40ccのノートPC用超小型ACアダプタ技術などをご紹介します。

15:00~15:20

「竹からセルロースナノファイバーを作る『大分大学法』と事業創造」

共創理工学科 応用化学コース 助教 衣本 太郎

自動車や食品など多様な用途が期待されているセルロースナノファイバーを、竹から作る「大分大学法」と、それをシーズとする竹害抑制、里山整備そして地域活性化を目指した事業創造構想を述べます。

15:20~15:40

休憩 & 名刺交換

15:40~16:20

「クリーンエネルギー社会の実現に向けて」

アンモニアから水素を簡単に
取り出す触媒プロセスの研究

共創理工学科 応用化学コース 准教授 永岡 勝俊

再生可能エネルギー由来の水素をアンモニアに変換することで、その貯蔵・輸送を容易にするプロセスが切望されている。我々はこのプロセスの実用化を志向し、室温でアンモニアと酸素を触媒に供給するだけで無加熱・瞬時に水素を取り出せるプロセスを開発した。

16:20~17:00

「液体とガラスの未解決問題」

共創理工学科 自然科学コース 准教授 岩下 拓哉

液体やガラスの物理学は物性物理学の未解決問題のひとつとして挙げられ、世界中の研究者が取り組んでいる問題です。本講演では、液体やガラスの最先端の基礎研究を解説します。

17:00~17:10

閉会挨拶

17:10~17:20

名刺交換

17:20~18:30

情報交換会 18:30終了



OITA UNIVERSITY

会場2

第5回 大分大学医工連携セミナー

～第1部 研究・成果紹介～

13:55～14:00

開会挨拶

14:00～14:30

「筋骨格系の力学解折～筋や関節にかかる力の推定」

創生工学科 機械コース 准教授

福永 道彦

14:30～15:00

「運動器疾患の治療における臨床現場での問題点」

医学部整形外科学講座 リハビリテーション部 診療講師

池田 真一

15:00～15:30

「テニスラケットとボールの衝突」

創生工学科 福祉メカトロニクスコース 教授

前田 寛

～第2部 外部講師の講演会～

15:40～16:50

「科学技術で変わるスポーツ・ヘルスケア」

スポーツクラブNAS株式会社

スポーツ健康医科学研究室 室長

後藤 真二氏

16:50～16:55

閉会挨拶

16:55～17:20

名刺交換

17:20～18:30

情報交換会 (会場1と合流) 18:30終了



申込について

申込方法

下記に記入しFAXしていただくか、同様の内容を電子メールにてお送りください。
※希望会場に○をご記入下さい。(両方希望の方は両方に○を記入して下さい)
会場1と会場2の移動は自由です。

申込締切

平成30年1月10日(水)までにお申し込みください。

参加費

講演会は無料です。

情報交換会

1,000円

申込・お問い合わせ先



大分大学 研究・社会連携課 社会連携係 (事務担当:阿部)
TEL: 097-554-7981 FAX: 097-554-7740
E-mail: oitau-ico@oita-u.ac.jp

企業名・所属	氏名	TEL・e-mail	会場1	会場2	情報交換会
					出・欠
					出・欠
					出・欠

☆当日参加も可能ですが、講演資料および情報交換会の準備の都合上事前に申込みをお願いいたします。